


団体名	神戸パピルス研究所		
団体の所在地	神戸市中央区	代表者名	勝田久子

1. 事業名	恒久的浮島にパピルス葦を植栽し、ため池の水質浄化
2. 実施期間	平成21年4月～平成22年2月
3. 主な実施場所	明石市 烏池
4. 活動形態	実践活動
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>4月にJA兵庫六甲でパピルス葦実生苗を播種 5月に烏池ビニールハウスに移動し、ハウス内で育てる 5月に一昨年製作した塩ビパイプの浮島(イカダ)を補修 6月に浮島(イカダ)にパピルス葦を搭載する 7月から12月のパピルス葦成長にしたがい池水の窒素、リンを吸収する 上記期間に水質調査を行い、浄化能力を確認する 22年1月にパピルス葦を刈り取り、水質浄化活動は終了する</p> <p>3年目を迎えた浮島(イカダ)の耐久性、強度、浮力は確認され、水質浄化能力も確認された。</p> <p>期間中の会員を主とする参加人員は延べ100人程度</p>
6. 成果・反響・ 反省点等	<p>過去行った竹を使用した浮島(イカダ)は1年ごとに新しく製作しなければ駄目でしたが、一昨年製作した塩ビパイプの浮島(イカダ)は本年も少しの補修で使用できた。後1～2年は十分使用できると思われる。</p> <p>各地のため池水質浄化に使用する耐久年数が明示され、イニシャルコストは少し掛かるが、その後はパピルス葦に関する費用のみでランニングコストはあまりかからない事が確認された。</p> <p>活動を広く広報できなかつた事が反省点です。</p>
7. 成果物	なし
8. 活動写真・説明	 <p>池に浮かんだ浮島(イカダ)で育つパピルス葦</p>